

豊山町第4次総合計画後期基本計画の策定について

1 策定の趣旨

本町では、平成22年3月に豊山町第4次総合計画を策定し、平成22年度から「小さくてキラリと輝くまちづくり」を基本理念として、「“にぎわい”と“やすらぎ”のアーバンビレッジ」を将来像としたまちづくりを進めている。

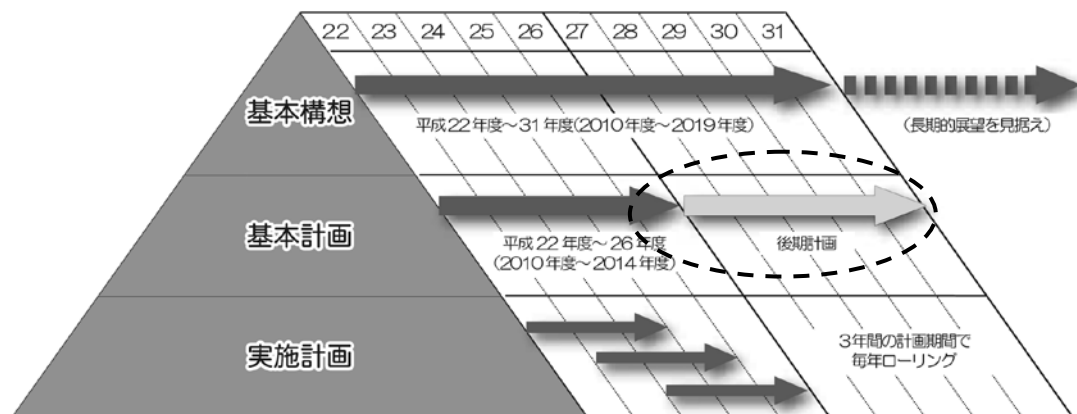
第4次総合計画は、10年間のまちづくりの基本的な方針や施策の基本方向を定めた「基本構想」と基本構想を実現するための施策体系である「基本計画」、実施すべき具体的な事業である「実施計画」からなっている。このうち、基本計画は、26年度までの5年間を前期計画、27年度から31年度までの5年間を後期計画としており、25年度と26年度の2か年をかけて前期計画を見直し、後期計画を策定することとしている。

平成22年度にスタートした第4次総合計画は、今年で5年目となり、この間、東日本大震災の発災や、南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しによる減災対策の必要性の高まり、愛知県が推進する民間航空機の生産・整備拠点誘致計画の進展、アベノミクスによる経済対策など、本町を取り巻く情勢は日々刻々と変化している。

後期計画は、前期計画の進行状況を十分に把握、分析するとともに、情勢の変化を踏まえ、いかに基本理念、将来像を実現するかという観点で策定作業を進めている。

また、平成26年度に策定する予定の地域公共交通網形成計画の内容についても、後期計画に反映させていくこととしている。

第4次総合計画の構成と計画期間



2 後期基本計画と交通との関わり

(1) 後期基本計画の策定方針

後期基本計画の策定方針の1つとして、「民間航空機の生産・整備拠点誘致計画に伴う、交通、福祉、教育等への影響を勘案して策定する」と位置付けている。

(2) 町長からの特命事項

後期計画に盛り込む町長からの特命事項として、「公共交通の充実」とともに、エアポートウォーク名古屋の周辺道路や神明公園への歩行者・自転車の専用道路の整備が掲げられている。

《参考：公共交通の充実に係る町長特命事項》

- ・乗り継ぎや待ち時間の抵抗感をなくし、公共交通の利便性を高めます。
- ・名古屋市との連携による効率的な公共交通の実現を目指します。

(3) 町民や事業所の意識調査の結果

○ 町民意識調査（平成25年度実施）

町民に対するアンケート結果では、町民が現状に最も不満足と感じ（不満率58.9%）、重要度が最も高い（重要率58.9%）と考えている施策として挙げたのが「公共交通網の充実」であった。

○ 事業所意識調査（平成25年度実施）

事業所に対するアンケート結果では、企業活動が行いやすい理由として挙げたのが「交通が便利である」（45.7%）である一方、企業活動が行いにくい理由として挙げたのも「交通が不便である」（62.5%）であった。

3 今後の主なスケジュール

| | |
|---------|--|
| 平成26年8月 | 町民討議会議の開催（テーマ：第4次総合計画後期基本計画） （8月2日（土）・3日（日）） 後期基本計画原案の作成 |
| 9月 | 総合計画策定委員会及び総合計画審議会の開催 |
| 10月 | パブリックコメントの実施 |
| 12月 | 後期基本計画の答申／とりまとめ |
| 平成27年1月 | 町議会への報告 |
| 3月 | 後期基本計画の公表 |